

第53回 水環境館水辺の生き物講座

一森の生き物観察会



今回の目玉はセンサーカメラ! 普段見ることが出来ない動物たちが続々登場! 意外と身の回りには動物たちの痕跡はたくさんあるぞ。



フンの形や大きさがヒントになります



テン

アライグマのフン?



タヌキのためフン場も見つけました



何を食べてるかな?



コガタブキサンショウウオにも会えました。

ためフンはタヌキの情報交換ツールのひとつ。中には未消化のギンナンの種やカキの種が見られました。動物たちが無意識に森を養っているんですね。



キレイな水の沢にはサワガニがいました



センサーカメラには何が写っていたかな?

センサーカメラに写った動物たち



イノシシ

農作物を食べて荒らす厄介者として有名。植物の根や木の実、きのこ等を食べて生活する。ウリ坊はとても可愛いですが、母イノシシが子どもを守るために近くにいるので近づかないように!



普段はあまり見かけないが夜道を運転する人はよく出会うかもしれない。悲しいことに車にひかれるタヌキが後を絶たない。



タヌキ

臆病な性格だが、近代では森林開発ですみかを追われ、人家の周辺に姿をあらわすことも多くなった。



アライグマ

エサを探す後ろ姿も撮影されました。



とあるテレビアニメがきっかけで一大ブームとなった。人間の都合で日本にやってきた可哀相な外来生物。現在世界各地で増え続け、多くの問題を引き起こしている。



センサーカメラ

冬毛の白くて愛らしい姿から愛好家も多い。



テン

イタチによく似ているが、イタチよりも大きくなり、冬毛になると白っぽい色になる。夜行性で日中に出会うことは少ないが、道路のわきやコンクリートの上によくフンが落ちている。

アライグマにご注意!!

耳が大きく、白い縁取りが特徴。

タヌキとは違って鼻に黒い筋が特徴。

体色は灰色っぽく、タヌキよりも白っぽい印象。

尻尾が長く、シマシマ模様。



アライグマの指は長いので人間の手足の形を小さくした様に見える。

アライグマが増えるとどうなる?

木登りができるため、樹上の小動物を追い払ったり、水辺でサンショウウオやカエルを食べるので絶滅に瀕した生き物にとって恐ろしい天敵になります。農作物を食い荒らしたり、ゴミ捨て場を荒らします。病気をもち込んだりするので人やペットに影響があるかもしれません。出典:環境省 九州地方環境事務所 野生生物課

どうすれば増えるのを防げる?

アライグマは特定外来生物に指定され法律によって飼育や運搬、販売等が禁止されています。アライグマの特徴を知り、見かけたら役場に連絡しましょう。アライグマの餌となる農作物やゴミを放置しないように。

